

## シマダヤのCIマーク



シマダヤのCI(コーポレートアイデンティティ)マークは、「お客様とシマダヤをおいしい笑顔で結ぶ」という意味を表しています。2つの円は、お客様とシマダヤの「心のクロスコミュニケーション」を意味しています。中央の笑顔は、「作る喜び・食べる喜び・お客様の笑顔」を表現しています。

## シマダヤ株式会社

人事総務部

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11

TEL : 03-5489-5511 / FAX : 03-5489-5507

<https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



グリーンプリンティング認定制度を取得している工場です。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な、水なし印刷を採用しています。



シマダヤ株式会社は、政府主催の豊かな低炭素社会を目指すキャンペーン「Fun to Share」に参加しています。

おいしい笑顔をお届けします



シマダヤグループ  
社会・環境報告書

2023



TOP MESSAGE

新社長が語る  
「これからのシマダヤ」

特集 商品開発を通じた  
社会課題への取り組み



# 食を通して社会課題の解決に貢献

シマダヤは1931年の創業以来、社是である「奉仕努力」のもと、様々な創意工夫と新しいことにチャレンジし、製麺業界初となるチルド麺の完全個包装化や冷凍麺の開発、そして、「流水麺」を始めとする数々の画期的な商品の開発など、「めんのリディングカンパニー」として歴史を刻んできました。麺専門メーカーとして、これからも経営コンセプトである「おいしい笑顔をお届けします」を実現するために、食を通して社会に貢献できる企業を目指していきます。



経営コンセプト

## おいしい笑顔をお届けします

これは、私たちシマダヤの経営コンセプトです。  
たくさんの人に「おいしい！」の笑顔をお届けしたい。

私たちシマダヤは、「安全・安心」でおいしい商品を皆様にお届けするために、社員一丸となって、その実現に向け全力で取り組んでいます。



### 7つのビジョン

- 1 シマダヤブランドを守り育てよう  
おいしい笑顔は、シマダヤ社員一人一人が作るシマダヤブランドの心です。
- 2 独自の技術で市場を創造しよう  
技術のシマダヤ。お客様の視点に立った魅力的な技術で、おいしい笑顔をお届けします。
- 3 組織を越えて話し合おう  
コミュニケーションのシマダヤ。お客様の声・社内の声、コミュニケーションはおいしい笑顔の基本です。
- 4 お客様の満足を追求しよう  
ソリューションのシマダヤ。商品のみならず、お客様の問題解決によっておいしい笑顔をお届けします。
- 5 常に成長し高収益を上げよう  
収益力のシマダヤ。おいしい笑顔は、安定した経営基盤によって、継続的に届けられるのです。
- 6 アイデアカンパニーを目指そう  
アイデアのシマダヤ。おいしい笑顔は、優れたアイデアによって届けられるのです。
- 7 チャンスを与え人を育てよう  
人のシマダヤ。おいしい笑顔は人への思いやりから生まれるのです。



### Contents

- 03 シマダヤグループの事業
- 05 トップメッセージ
- 07 <特集>  
商品開発を通じた社会課題への取り組み
- 09 シマダヤグループの社会・環境活動報告
- 09 ● 食の安全・安心
- 11 ● 働きやすい環境づくり
- 12 ● コンプライアンス
- 12 ● 社会貢献
- 13 ● 環境取り組み
- 18 第三者意見

#### 編集方針

本報告書は、当社のISO14001適用事業所において、経営コンセプト「おいしい笑顔をお届けします」を実現するための事業活動を通じた社会・環境取り組みの情報を提供することを目的に発行しています。

#### 対象期間

2022年4月から2023年3月（活動については直近のものも含む）

#### 報告対象範囲

シマダヤグループのうち、シマダヤ及びISO14001適用事業所である工場を報告範囲としています。

#### 発行

2023年9月発行

# シマダヤグループの事業

シマダヤは、1931年の創業以来、麺製造業界のリーディングカンパニーとして「めん」を通して日本の食文化の発展に広く貢献してまいりました。私たちが独自の技術を磨き、安全で安心かつ魅力ある商品を作り続けるのは、お客様の「おいしい笑顔」が見たいからです。

これからもお客様の健康で豊かな食生活に一層貢献できる企業でありたいと願い、皆様に愛され信頼される「シマダヤ」を目指して、社員一丸となってその実現に向け全力で取り組んでまいります。

## 事業内容

シマダヤは、**家庭用事業**、**業務用事業**の分野で事業を展開しています。お客様のニーズや用途にあった商品を幅広く取りそろえ、より多くのお客様へ「おいしい笑顔」をお届けするため、おいしく楽しい食シーンを提案しています。

### 家庭用事業

チルド麺と冷凍麺を中心に、うどん・そば・ラーメン・冷し中華・焼そばなど、素材麺から具付き麺まで、バラエティ豊かな麺類を、主にスーパーマーケット・小売店・コンビニエンスストアなどで販売しています。

#### 主なラインアップ



「流水麺」  
国産小麦粉使用  
うどん 2人前



「もみ打ち」  
生冷し中華  
醤油味



「鉄板麺」  
お好みソース味



冷凍「健美麺」食塩ゼロ  
数そば 3食  
<ミニダブル>

### 業務用事業

うどん・そば・ラーメン・パスタなどの冷凍麺を中心に、従業員食堂や学校給食、高速道路のサービスエリアといった外食産業、惣菜などの中食産業向けに販売しています。また、海外へ輸出も行っています。

#### 主なラインアップ



「真打」つけ汁専用  
武蔵野うどん  
<ミニダブル>



「α麺」  
国産そば使用  
冷凍乱切そば



「健美麺」学給用  
食塩ゼロラーメン  
(国産小麦使用)



輸出用「真打」  
稲庭風うどん  
<ミニダブル>

## シマダヤグループ行動規範

シマダヤグループ行動規範は、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的に行動に移す際、守るべき重要な事項を、主にコンプライアンスの観点からまとめたものであり、シマダヤグループのあらゆる事業活動において優先されます。

シマダヤグループでは、事業活動の中で行動規範とSDGsの17のゴールを紐づけて活動しています。詳しくは、特集と社会・環境活動報告のページをご覧ください。

- |            |                             |            |                            |
|------------|-----------------------------|------------|----------------------------|
| <b>規範1</b> | 安全な商品とサービスを提供します            | <b>規範4</b> | 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます      |
| <b>規範2</b> | お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします | <b>規範5</b> | 安全で働きやすい職場環境の確保に努めます       |
| <b>規範3</b> | 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます    | <b>規範6</b> | よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います |

## シマダヤグループ概要

### ● 会社の概要

<b>社名</b>	シマダヤ株式会社	<b>事業所数</b>	本社1、支店3、ロジスティクスセンター1、開発研究所1
<b>設立</b>	1949年3月	<b>子会社</b>	シマダヤ関東株式会社 シマダヤ西日本株式会社 シマダヤ東北株式会社
<b>資本金</b>	10億円		
<b>事業内容</b>	麺類及び関連食料品の製造及び販売		
<b>売上高</b>	340億円 (2023年3月期)		

### ISO14001認定事業所

シマダヤグループでは、シマダヤ(株)及び全グループ工場①～⑪でISO14001を認証取得しています。

**シマダヤ西日本株式会社**  
本社所在地：滋賀県近江八幡市

- ⑥ 滋賀工場 (滋賀県近江八幡市) 登録日:2012年2月28日
- ⑦ 兵庫工場 (兵庫県宍粟市) 登録日:2015年12月21日
- ⑧ 岐阜工場 (岐阜県安八郡) 登録日:2009年10月16日

**シマダヤ東北株式会社**  
本社所在地：宮城県大崎市

- ⑨ 古川工場 (宮城県大崎市) 登録日:2009年3月23日
- ⑩ 郡山工場 (福島県本宮市) 登録日:2009年3月23日
- ⑪ 仙台工場 (宮城県仙台市) 登録日:2015年12月21日

**シマダヤ株式会社**  
所在地：東京都渋谷区 恵比寿西1-33-11  
登録日：2004年7月16日

**シマダヤ関東株式会社**  
本社所在地：東京都昭島市

- ① 東京工場 (東京都昭島市) 登録日:2004年7月16日
- ② 松戸工場 (千葉県松戸市) 登録日:2009年10月16日
- ③ 群馬工場 (群馬県前橋市) 登録日:2011年2月28日
- ④ 前橋工場 (群馬県前橋市) 登録日:2010年2月23日
- ⑤ 埼玉工場 (埼玉県深谷市) 登録日:2010年11月30日

## トップメッセージ

# 麺食を通して経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」を具現化し次なるステージを目指します

2023年4月1日に代表取締役社長に就任いたしました。経営コンセプトの「おいしい笑顔」をお届けするため、事業を通じた社会課題の解決に努め、ステークホルダーの皆様へ信頼され、支持していただける企業を目指してまいります。今後とも、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

岡田 賢二

### 2022年度は様々な施策により 売上は伸びたものの 利益はコスト上昇を吸収しきれず微減

2022年2月に発生したウクライナ危機により、原材料や資材、エネルギーの価格高騰に拍車がかかりました。コロナ禍からの経済活動の回復が進んできたものの、ウクライナ危機はいまだ収束せず、為替市場では急速に円安が進行するなど、不透明な状況が続いています。

シマダヤグループの営業状況につきましては、家庭用事業は、巣ごもり消費の反動などもあり「流水麺」や「健美麺」など家庭用チルド麺のブランド商品が若干縮小したものの、国産原料を使用した「太鼓判」シリーズの拡販に努めたほか、数年来、強化してきた家庭用冷凍麺の売上が伸長しました。また、新規開拓を継続してきた業務用事業も外食市場の回復を追い風に好調に推移しました。その結果、全体の売上高は前年度に比べ増加となりました。

### プロフィール

1993年入社。業務用冷凍麺事業に23年間携わり、2016年に取締役 マーケティング本部長 兼 経営企画部長、2018年に常務取締役 マーケティング本部長 兼 商品企画部長、2019年に常務取締役 生産物流本部長を務める。2021年4月より早稲田ビジネススクールに1年間通い、MBAを取得。2022年に専務取締役 生産物流本部長に就任後、2023年4月より現職となる。

一方、利益面ではコストの上昇に伴い2022年3月、2023年2月の価格改定の実施や広告販促費の削減、生産合理化などにも取り組みましたが、想定を上回るペースでの物価高騰が進み、前年度に比べ微減となりました。

### 新体制で次期中期経営計画を策定し 2024年度中の新規上場申請を目指す

当社は2023年度を迎えるにあたり、経営的に重要な変化を2つ発表しました。

ひとつは、シマダヤにとって17年ぶりとなる社長交代です。前社長の木下（現会長）が築いた経営基盤を引き継ぎ、さらなる成長軌道に乗せるべく、本年4月より私が経営の舵取りを任されることになりました。

もうひとつは、親会社のメルコホールディングスから分離・独立し、上場に向けて始動するという大幅な経営管理体制の刷新です。メルコホールディングスの株主にシマダヤ株式を現物配当で交付する株式分配型スピノフにより、2024年度中の新規上場申請を目指します。

本年度は内部統制の強化やコンプライアンス意識の向上など、上場準備を確実に行うとともに、次期中期経営計画の策定を進めており、持続的な成長に向け、グループ一丸となって取り組んでまいります。

### 事業活動を通じた社会課題の解決や SDGsへの貢献により、ブランド力を高めていく

企業は規模の拡大を追うだけでなく、事業活動を通じた社会課題の解決やSDGsへの貢献により、広く社会からの信頼を得続けることが重要です。当社は商品戦略において、お客様のニーズを捉えた「7K（健康・簡便・高品質・経済性・買いおき・国産・環境）」を打ち出し社会課題への対応を行っております。また、2022年度～2023年度の「中期環境目的・目標」においては6つの重点テーマを定め関連するSDGsを紐付け、取り組みを進めております。

2022年度はその中でも家庭用主力ブランドの国産原料への切り替えを積極的に推進しました。「流水麺」のそば粉や生冷し中華類の小麦粉を100%国産化することで、輸入原料の物流に関わるCO<sub>2</sub>排出量の削減や原料の安定調達を図り、食料自給率の向上に貢献してまいりま

した。同時に食感の改良も行い、付加価値を高めた商品はお客様からも高評価をいただいています。

また、健康寿命延伸へ寄与する健康基軸商品として、食塩や糖質をカットした「健美麺」シリーズの拡売に注力したほか、商品パッケージ内のトレー廃止によるプラスチック使用量削減や生産工場への太陽光発電システム導入、賞味期間の延長によるフードロスの削減など環境負荷削減に繋がる取り組みも推し進めました。

2023年度においても、これらの取り組みを引き続き推進していくとともに、労働力不足や物流の2024年問題などへの対応も視野に入れながら、持続的な社会に向けて貢献できるようさらなる生産性の向上や効率化に取り組んでまいります。

### 大切な人の「笑顔」のために何ができるか それを念頭に挑戦と協働を続けて前進する

2003年に発表された「おいしい笑顔をお届けします」という経営コンセプトと7つのビジョンは、ブランド再構築プロジェクトにて策定され、当時、私もメンバーとして携わりました。それから20年、社長就任にあたり、この原点に立ち帰る重要性を感じております。私にとってはお客様の「笑顔」が最大の活力であり、従業員にもそれを理解してもらうことで「自律型組織」を作り上げていきたいと考えております。「自律型組織」になるということは、一人ひとりが主体的に考え、失敗を恐れずに挑戦を続け、組織を越えて協働していくことが欠かせません。私はいま全国の事業所や工場を回り、従業員との対話を重ねて、あらためてこうした理解を促しています。

シマダヤグループがこれから持続的成長をしていく上で必要な人材は「挑戦」と「協働」ができる人だと考えています。「チャレンジ」&「コラボレーション」は、7つのビジョンの中の「7. チャンスを与え人を育てよう」と「3. 組織を越えて話し合おう」であり、厳しい局面を乗り越えるにはこの7つのビジョンの実践が非常に重要なものとなります。

ステークホルダーの皆様からより信頼され、支持していただけるよう、麺食を通して経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」を具現化し、次なる新たなステージを目指すシマダヤグループに是非ご期待ください。

# 商品開発を通じた社会課題への取り組み



シマダヤグループでは、変化する社会・環境やお客様の志向に応えるため、「健康・簡便・高品質・経済性・買いおき・国産・環境」の「7K」をお客様のニーズとして捉え、商品開発及び営業活動に取り組んでいます。このページでは「7K」に関する主な取り組みを事例とともに紹介します。

環境

## 省エネ・省資源への取り組み

### 1. プラスチックトレイの廃止及び薄肉化

商品パッケージ内トレイの薄い素材への変更やトレイを使用しない商品ラインアップの拡大により、プラスチック使用量を削減しています。

トレイ廃止により  
プラスチック使用量  
(1パックあたり)  
**約23%削減**  
※従来トレイ使用品  
重量比



### 2. バイオマスインキの使用

商品パッケージに使用しているインキに着目し、一部の商品で環境負荷低減に繋がる植物性由来の原料を使用したバイオマスインキに変更することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減しています。

CO<sub>2</sub>排出量  
(1パックあたり)  
**6.9%削減**



経済性  
Keizaisei

高品質  
Kouhinshitsu

買いおき  
Kaiki

開発キーワード

# 7K

環境  
Kankyou

簡便  
Kanben

国産  
Kokusan

健康  
Kenkou

買いおき

## 賞味期間延長への取り組み

ご家庭や店舗での賞味期限切れによる食品ロスを低減するため、商品の賞味期間延長に取り組んでいます。様々な検証を重ねて、品質に問題がないことを確認し、2023年春夏商品では「本生」冷し中華や「健美麺」塩分40%カットめんつゆ等の賞味期間を延長しました。

また、常温で長期保存が可能な「長持ち麺」や冷凍保存が可能な生中華めん等もラインアップしています。

「健美麺」塩分  
40%カットめんつゆ  
**60日**  
**90日**

「本生」  
冷し中華  
**21日**  
**30日**



健康

簡便

## 健康・簡便価値商品の開発

シマダヤグループでは、「健美麺」ブランドで食塩ゼロや糖質カット等をラインアップし、美味しい食シーンをお届けすることで皆様の健やかな食生活をサポートしています。

また、水・つゆでほぐすだけで食べられる「流水麺」や流水解凍が可能な「α麺」を始めとした簡便価値商品の開発により、お客様の利便性向上のみならず、水やガスの使用を減らす省エネ・省資源への取り組みにも繋がっています。



国産

## 国産原材料の使用推進

「流水麺」を始めとした、うどん・そば等の主原料国産化により、商品の品質価値向上とともに食料自給率の向上、原材料の輸入にかかるエネルギーの削減に取り組んでいます。シマダヤグループでは、家庭用商品のうどん全品（「手延べ勝り」うどん除く）と、家庭用チルド商品の主力2食中華めん・焼そばのめんに使用している小麦粉をすべて国産にしました。



# シマダヤグループの社会・環境活動報告

## 食の安全・安心



シマダヤグループでは、食品メーカーとしてお客様に安全・安心な商品をお届けする責任を果たすために、グループ全体で安全・安心への取り組みを推進しています。

規範1 規範2

### シマダヤグループの品質に対する考え方

シマダヤグループでは、「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。当方針では品質を商品品質だけでなく、組織や活動の質も含めて品質と定義しています。また、シマダヤグループの各工場では、管理レベルを更に向上させ、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、HACCPを含む国際的な食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000に取り組み、全11工場にて認証を取得しています。



### 安全・安心に配慮した商品製造

シマダヤグループの各工場では、安全・安心な商品をお届けするために、各製造工程における異物除去装置の導入や製造現場の衛生管理・清掃、メンテナンス、微生物検査・官能検査等を実施しています。また、ハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上等、ソフト面の取り組みも行っています。

#### VOICE

**従業員、一丸となって安全・安心な商品の生産をしています。**

シマダヤ関東(株)松戸工場では、安全・安心な商品をお届けするための取り組みとして製造ラインに異物検知カメラを設置し、排出された異物を検証し発生源を突き止めるとともに、清掃や部品の交換、機械の調整等、異物混入のリスクを防ぐために様々な取り組みを行っています。生産者として、安全について一切の妥協はなく、日々、従業員一丸となって安全・安心な商品の生産を心掛けています。

シマダヤ関東(株)松戸工場



### 安全・安心を支える原材料調達

シマダヤグループでは、小麦粉等の主原料、澱粉等の副原料、スープ、具材、容器包材を始めとした安全・安心な原材料・資材の安定的な確保に努めています。原材料供給メーカー様にご協力いただきながら、収集した製品情報及び製造工程に関する情報の確認や必要に応じて工場査察を行うとともに、市場の環境が短期的に大きく変化した場合に備え、リスク調査を実施することで、調達リスクを把握しその対応に備えています。



### お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メール等で寄せられるお客様からの様々なお問い合わせに対し、迅速かつ正確にお応えしています。お客様からいただいた貴重な声は、日報やお客様相談室通信により関連部門に伝え、より良い商品づくりに活かしています。

#### 1. 季節商品の販売期間のホームページへの表示

お客様からの寄せられた“季節商品の販売期間が知りたい。分かるようにしてほしい”とのお問い合わせに対し、お客様へより分かりやすい情報提供を行うため季節商品の販売期間をホームページに掲載しました。



#### 2. 商品パッケージの表記を見直し

お客様から寄せられた“「ゆで」と書いてあるが、茹でる必要があるのか”とのお問い合わせに対し、「加熱してお召しあがりください」との表記を追加しました。※「流水麺」を除く



#### 3. 「流水麺」冷し中華 ごまだれ味のスープを増量

お客様から寄せられた“ごまだれのつゆを多くしてほしい”とのご要望に対し、ごまの風味が濃厚なスープへ改良するとともに、スープを約5%増量しました。



### TOPICS

#### 「お客様の声を聴く会」を実施しています

お客様の要望、潜在的なニーズを捉え、今後の商品開発・改良に活かすために、開発・企画部門やグループ工場においてお客様のリアルな声を直接聴く機会として、定期的に「お客様の声を聴く会」を実施しています。



「お客様の声を聴く会」の様子

#### VOICE

#### 「お客様の声を聴く会」の実施

お客様相談室はクレーム対応係と思われがちですが、大変ありがたいことにお褒めの声も多くいただいております。このような声を伝えるべく、受電した内容を各工場に訪問し聴いていただく会を設けています。所要時間は30分程度ですが、参加者からは「実際のお客様からの声を聴くと励みになります」や「胸が熱くなりました」等の感想をいただき、中には涙を流される方もいらっしゃいました。今後も、お客様の思いを伝える橋渡し役として、活動を続けていきたいと思っております。

お客様相談室 秋山 由貴子



## 働きやすい環境づくり



シマダヤグループでは、従業員が安全で、働きやすい職場環境を確保するため、行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

規範5

### ワークライフバランスの推進

シマダヤ(株)では、従業員の多様な働き方を推進するため、男女ともに仕事と育児を両立できるよう、職場環境整備や動画を活用した制度の周知等を実施しています。

#### 1.仕事と家庭の両立支援に向けて

次世代育成支援対策推進法に基づき、柔軟な働き方を推進して従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

目標	2022年度実績
計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準にする 男性社員：取得率30%以上、女性社員：取得率100%の維持	育児休業の取得状況 男性社員：取得率 <b>80%</b> 、女性社員：取得率 <b>100%</b>

#### 2.女性の活躍推進に向けて

女性活躍推進法に基づき、女性が継続して就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

目標1	2022年度実績
全社員に占める女性の割合を27%以上とする	全社員に占める女性の割合：全体 <b>24.2%</b> (正社員 <b>23.4%</b> 、パート社員 <b>85.7%</b> )
目標2	2022年度実績
男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を70%以上とする	男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合：全体 <b>69.4%</b>

### 「ホワイト物流」推進運動への賛同

国土交通省、経済産業省、農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、自主行動宣言を公表しています。近年のトラック輸送における人員不足や労働時間等の課題に対して、作業・労働環境の改善に取り組んでいます。

取り組み項目	取り組み内容
物流の改善提案と協力	物流業務に従事する方々の負荷削減へ向け、関係各所との相互理解・協力のもと、物流の効率化、改善の取り組みを積極的に実施します。
パレット等の活用	パレット輸送を活用し、荷役時間の削減に取り組んでいます。
船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送に関しては、船舶や鉄道のモーダルシフトを推進し、CO <sub>2</sub> 排出量を削減し環境への負荷を軽減します。
契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
異常気象時等の運行の中止	台風や大雪等の異常気象の際は、ドライバーの安全を確保するため、運行の中止が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

## コンプライアンス



シマダヤグループでは、リスクマネジメントの推進や従業員教育の実施により、コンプライアンスの強化・徹底を図っています。

規範3

### リスクマネジメントの推進

シマダヤグループでは、企業として存続・発展するために、その障害となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するために実行計画を策定し、取り組みを推進しています。

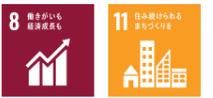
### 環境法規制の総点検の実施

シマダヤグループでは、環境法規制の順守強化を目的に、年2回の順守評価及び内部監査に加え、環境法規制の総点検を実施しました。各部門・各工場の環境推進責任者が自ら主導して順守状況を確認することで、法規制に対する意識向上を図っています。

### eラーニングの活用

シマダヤグループでは、コンプライアンスの強化を図るため、eラーニングを活用して「リスクマネジメント」や「企業・倫理」、「情報セキュリティ」等の社員教育を実施しています。

## 社会貢献



シマダヤグループでは、清掃活動を始めた社会への貢献活動を実施しています。

規範6

### 地域清掃活動の実施

各事業所では、地域貢献及び環境意識の向上として定期的に事業所周辺の清掃活動を継続して実施しています。また、個人やグループでも地域の清掃活動に参加し、地域社会に貢献しています。



清掃活動の様子

### 地域社会活動への参画

シマダヤ関東(株)松戸工場では、地域の工場から出る廃材を利用し、教育・保育など、子どもたちの表現活動に使っていくアートプロジェクトである「松戸クリエイティブリユースプロジェクト」へ、麺を茹でる際に使用していたバケットの提供を行いました。



ブラックライトで光るアート作品

## 環境取り組み



シマダヤグループでは、省エネ・省資源や食品ロスの削減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

規範4

### シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、中期環境目的・目標を掲げ、それを達成させるために、各部門で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

#### ● シマダヤグループ環境基本方針

##### 環境理念

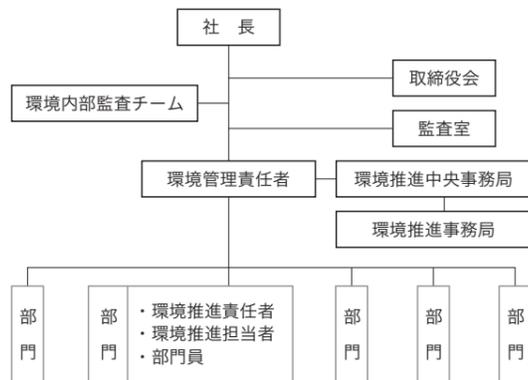
小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。

シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

##### 環境行動指針

- 環境関連法規の遵守** 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
- 資源、エネルギーの有効利用** 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組むとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
- 継続的な環境改善** 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
- 環境保全意識の醸成** 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
- 情報の公開** 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

#### ● 環境推進体制



#### ● 活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者
	環境管理責任者	全社の活動の責任者
	環境推進中央事務局	環境管理責任者の補佐
部門の推進役	環境推進事務局	環境推進責任者、環境推進担当者の補佐
	環境推進責任者	部門活動の責任者(活動の単位の部門長、または工場長)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー

※ 部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上においては、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

### シマダヤグループのバリューチェーン

シマダヤグループでは、食品メーカーの責務として商品開発からお客様のお手元に届くまでの各過程で環境に配慮した取り組みを行っています。



### TOPICS

#### 環境に配慮した営業活動の実施

シマダヤ(株)では、商談や展示会等において、環境配慮型商品(健康・簡便・国産)の提案等を始めた環境に配慮した営業活動を積極的に行っています。

また、食品ロス削減への取り組みとして、お取引先様の展示会における商品見本の現物から写真や食品サンプルへの切り替えや、お客様への試食等に使用する商品サンプルの適切な数量管理により廃棄削減に努めています。



展示会の様子



「健美麺」の案内チラシ

## シマダヤグループ中期環境目的・目標（2022年度～2023年度）

### グループ全体方針

シマダヤグループは有益な社会・環境影響をもたらす活動を実践し  
持続可能な社会の実現に貢献します

- |               |   |
|---------------|---|
| 1. 生産物流本部     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー由来CO<sub>2</sub>排出量の削減</li> <li>● 廃棄物（スープ・具材・原料を含む）の削減</li> <li>● 省エネ・省資源及び業務の生産性の向上をもたらす活動の実行</li> </ul> |
| 2. 営業本部、開発研究所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康・簡便・国産原料使用商品の開発・拡売</li> <li>● 環境に配慮した商品の開発・拡売</li> </ul>   |
| 3. 管理部門       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務の生産性の向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等をもたらす活動の実行</li> </ul>  |

## 中期環境目的・目標 2022年度取り組み結果報告

環境目的	2022年度実績
1 エネルギー由来CO <sub>2</sub> 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2022年度は目標比 99.9%となり達成となった。</li> <li>● 各工場では、生産設備の更新や太陽光発電システム、省エネ機器の導入等により電気・ガス使用量を削減した。</li> </ul>
2 廃棄物（スープ・具材・原料を含む）の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場では、2022年度は目標比105.7%となった。各工場ではメンテナンス強化や教育によりトラブル廃棄の削減に努めたが、人的ミスや設備由来のトラブル等が発生し増加した。</li> <li>● ロジスティクスセンターでは、2022年度は目標比238.8%となった。廃棄物削減のため関連部門との連携を密にとり削減に努めたが、原単位実績では増加した。</li> </ul>
3 有益な環境影響（省エネ・省資源等）をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 配送コース・配送便、輸送回数の見直しにより、配送に関わるCO<sub>2</sub>排出量を1.9%削減した。</li> <li>● プラスチックトレイの厚みを変更しCO<sub>2</sub>排出量を前年比で28.6%削減した。</li> <li>● システムの活用や業務フロー見直しによるペーパーレス化により、業務の生産性向上に貢献した。</li> </ul>
4 健康・簡便・国産原料使用商品の開発・拡売	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境配慮型商品（健康・簡便・国産）の拡売に取り組んだが、コロナ禍における市場変化などの影響もあり目標未達成となった。</li> <li>● 「流水麺」稲庭風細うどんや業務用「健美麺」糖質30%カットうどん等の開発・改良、「もみ打ち」生冷し中華／ざる麺、「鉄板麺」等に使用する小麦粉を国産化した。</li> </ul>
5 環境に配慮した商品の開発・拡売	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トレー無し包装の対象商品の拡大、賞味期間の延長、お客様における環境負荷低減に繋がる対応を実施した。</li> </ul>
6 業務の生産性の向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務手順の見直し及び内部統制の強化、文書電子化を始めとした業務の効率化等に取り組んだ。</li> </ul>

## 2022年度社会・環境活動表彰

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2022年度の活動においては、グループ全体で34件のエントリーの中から、5件が表彰されました。シマダヤグループでは、引き続き、身近な取り組みからグループ全体に展開可能な社会・環境活動に取り組み、従業員一人ひとりの意識を高め活性化を図ってまいります。



表彰状授与の様子

受賞部門	活動内容
1 企画部、原材料部	業務用冷凍商品のフィルム薄肉化によるプラスチック使用量削減
2 研究開発部	商品の賞味期間延長の取り組みによるフードロス削減
3 シマダヤ関東(株)前橋工場	省エネ活動推進による電気使用量削減
4 シマダヤ西日本(株)滋賀工場 製造課・製麺グループ	廃棄物削減プロジェクト推進による廃棄物削減
5 シマダヤ東北(株)古川工場 製造部	エアリーク（漏れ）対策による電気使用量削減

## 環境内部監査の実施

シマダヤグループでは、環境マネジメントシステムが要綱に沿って継続的かつ適切に実施され、維持されているかを確認するため、毎年10月～11月に環境内部監査を実施しています。

2022年度は19部門を対象に内部監査を実施し、環境法規制の遵守状況や各部門が環境目標の達成に向けて事業プロセスと統合した環境取り組みを推進していることを確認しました。



環境内部監査の様子

## ISO14001：2015の認証継続が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤ(株)と東京シマダヤ(株)（現 シマダヤ関東(株)東京工場）でISO14001の審査登録を受け、認証登録されました。その後、順次適用事業所を拡大し、2023年9月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社11工場が登録範囲となっています。

2022年度の維持審査では、13部門を対象にヒアリングや現場確認が行われました。審査の結果、ISO14001：2015の登録継続が承認されました。



## 省エネ・省資源への取り組み

シマダヤグループでは、日々の業務において省エネ・省資源に取り組んでいます。工場では、省エネ機器導入による電気使用量の削減や設備更新によるガス使用量の削減のほか、従業員教育や生産効率の改善に取り組んでいます。また、シマダヤ(株)では、商品包材の見直しによるプラスチック使用量の削減や物流効率化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減、システム活用によるペーパーレス化を進めています。

### VOICE

#### エアリーク（漏れ）対策による電気使用量削減

シマダヤ東北(株)古川工場では、コンプレッサーのエアリークを点検できる機器を導入し、今まで発見することが困難だったエアリークに対して改善を継続的にを行い、コンプレッサーの稼働率を向上させ電気使用量の削減を図る活動を実施してきました。また、この活動をシマダヤ東北(株)の他の2工場にも展開した結果、当社全体で、大幅な電気使用量及びコスト削減に繋げることができました。

今後も検査機器を有効に活用し、徹底したロス削減に継続的に取り組んでまいります。

シマダヤ東北(株)古川工場 増子 公一

#### 廃棄物削減プロジェクト推進による廃棄物削減

シマダヤ西日本(株)滋賀工場では、廃棄物削減プロジェクトにて廃棄物の削減に取り組んでいます。製麺では人的ミスによる廃棄が多く、特にミキシングミスに関する対策に注力し、様々な取り組みを続けてきました。取り組みを進めていく中で、課員との情報共有の重要性に気づき、今後も密にコミュニケーションを取り、課員全員参加で廃棄物の削減に取り組んでいきたいと思っています。

シマダヤ西日本(株)滋賀工場 真鍋 気吹

## TOPICS

### 太陽光発電システムの導入

シマダヤグループでは、世界的な気候変動問題を踏まえ、環境負荷低減を図る活動の一環として、2022年度にシマダヤ関東(株)群馬工場、前橋工場の2工場に太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの活用により、電気使用量及びCO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与しています。今後も、省エネ・省資源に繋がる設備の導入計画を進める等、環境負荷低減に向けた活動を推進しています。



シマダヤ関東(株)前橋工場



シマダヤ関東(株)群馬工場

## 第三者意見

ウクライナ危機を受けた原材料や資材の価格高騰の影響を受けながらも従来どおり社会課題の解決に熱心に取り組まれていることを評価したいと思います。

今年は、貴社が2024年度中の新規上場を目指して始動されていることから、これまでの貴グループの取り組みをもとに、現在、上場企業に求められるサステナビリティの取り組みの情報開示の動きと特に留意したい点についてコメントしたいと思います。

### サステナビリティ情報の開示の動きを受けて

ESG投資に対する関心の高まりを受けて、国際的に情報開示の基準の動きが加速しています。日本では、2023年1月、企業内容等の開示に関する内閣府令の改正があり、有価証券報告書等において、サステナビリティ情報の開示が拡充されています。

「従業員の状況等」においては、既存の項目に加えて、「女性管理職比率」、「男性育児休業取得率」及び「男女間賃金格差」の開示が、「サステナビリティに関する考え方及び取組」では、「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」及び「指標及び目標」の開示が求められるようになりました。

貴グループでは従来から7つのビジョンに基づいた社会課題の解決、男性社員も含めた育児休業取得率の向上、更にはバリューチェーン上の環境への取り組みなどサステナビリティに関する取り組みと情報開示がなされていることから、今後はこれまでの取り組みをベースに、取り組みがまだ十分ではないものを中心にこれまでの取り組みを深化させながら社会の要請に応えていくことを期待します。

### サステナビリティ情報の開示にあたって、特に留意したい「リスク管理」

リスク管理にあたって、まず必要となるマテリアリティの特定において、従来から取り組んでいる食の安全・安心や環境、ワークライフバランスの推進、省エネ・省資源などを基礎にサ

### 第三者意見を受けて

古谷様には、貴重なご意見を頂き厚く御礼申し上げます。当社グループは2022年度から2年間の中期環境目的・目標の活動を推進しており、今年度の進捗は全体として評価できると思います。当社は2024年度中の上場を目指して準備を進めておりますが、今回のご意見にありますように企業に求められるサステナビリティの取り組みは、今後更に多くの重要なステークホルダーとの関係により深化するでしょう。当社グループを取り巻く環境が変化していくなかで、着実に環境目的・目標を達成するよう活動を進め、7つのビジョンに基づく経営コンセプトが評価される企業活動を、マテリアリティを特定し取り組んでまいります。今後はサステナビリティ情報の開示にあたり、「リスク」に留意し戦略的な企業活動により持続可能な社会へ貢献したいと考えます。



シマダヤ株式会社 専務取締役  
人事総務部長（環境管理責任者）  
相馬 紳一郎



博士（総合政策）、  
サステナビリティ  
消費者会議代表  
古谷 由紀子氏

### プロフィール

- 博士（総合政策）、サステナビリティ消費者会議代表、中央大学経済研究所客員研究員（2019年～）。（一財）CSOネットワーク代表。
- 企業の品質、コンプライアンス、デジタルトランス、サステナビリティ等委員会の社外委員
- 消費者庁、総務省、経済産業省等の審議会や検討会に参加。
- 主な著作物には、「消費者志向の経営戦略」芙蓉書房出版（2010年）、「現代の消費者主権」芙蓉書房出版（2017年）、「『責任あるビジネス』における実践と課題—国際合意・基準からの考察—」日本経営倫理学会（2020年）、「『人権リスク評価』にライツホルダー視点をどう組み込むか—企業の人権尊重責任を果たすために—」日本経営倫理学会（2022年）など

ステナビリティに重要な利害関係を持つステークホルダーの声を聞いてマテリアリティを特定していくといいでしょう。ステークホルダーは、貴グループの事業から影響を受け、あるいは事業に影響を及ぼす存在であることから、ステークホルダーとの対話や協働も重要になってきます。次に、これらマテリアリティに紐づく短・中・長期のリスク及び機会を識別し、評価し、管理するプロセスの開示が求められることになります。参考に、現在、リスクとして挙げられる多い事例を紹介すると、気候変動リスクやサプライチェーン上の人権侵害リスクがあげられています。気候変動は企業のマテリアリティとして取り込まれ、その取り組み方によっては事業の物流その他に大きなリスクを引き起こすことになります。またサプライチェーン上の人権尊重の取り組みも企業のマテリアリティとして取り込まれ、その取り組み方によって人権侵害リスクを顕在化させ、企業価値を損ないかねないことが広く知られるようになっていきます。

今後、貴グループでは、お客様（消費者）やサプライチェーン上の取引先などのステークホルダーとともに、マテリアリティを特定して、これらに関わるリスクを的確に識別して戦略的にサステナビリティに取り組まれることを期待します。